

# コロナ禍における会員の取組み紹介!!

## 小糸製作所労働組合

「ろうきんなんでも相談会」復活のため



望月誠司さん(中央副執行委員長)  
※撮影の為マスクを外しています

ものづくりが好きであった私が製作しましたが、アクリル板の扱いは非常に難しく、遠目では完成度が高く見えますが、よく見ると細かな傷が多々あります。また、安全性を重視し、L字鋼材を足部に使い、風が吹いても倒れないような仕様としました。

新型コロナウイルス感染拡大防止の為、小糸労組で毎週行われていた「ろうきん何でも相談会」を約2か月間開催できない状態となりました。それでも組合員からの融資相談はあり、何とか対策を講じて相談会を開催するために、飛沫防止のアクリル板の設置を決定しました。

しかしながら、業者に納期を確認すると2週間以上かかるということで、少しでも早く相談会を復活させるため、自分たちでホームセンターへ行き資材を購入し自作することにしました。



相談再開!!

飛沫防止板を設置することにより、相談に来る組合員も(ろうきん)の職員も安心して融資相談を行うことができるようになりました。コロナ禍でも組合員のニーズに応えていくことが労働組合としてやるべきことと再認識しました。

ちなみに、毎朝、ソファとテーブル、飛沫防止板をアルコール除菌するのがわたくしの日課となっています。



飛沫防止のアクリル板 手作り!!



## ヤマハ発動機労働組合

コロナ禍における  
情報発信のため  
ホームページを刷新!

情報発信ツール  
(労組ホームページ)を見直したきっかけ

新型コロナウイルス感染防止のため、企業として、人との接触機会を7割~8割削減する方針が立てられ、その手段として在宅勤務や時差出勤等を活用することになりました。

それにより、これまで各支部で実施していた昼休みの相談窓口や対面による労組活動等ができなくなることも、また組合員への情報展開もこれまでの職場委員が書面等を配布・回覧して情報発信してきたものが全組合員の手に届かないことを危惧して、ホームページ上に特設サイトを開設いたしました。



梶原千恵美さん(中央執行委員) ※撮影の為マスクを外しています



特設サイトの開設にあたって工夫した点

在宅勤務等が始まる前に、支部を通じて全組合員に特設サイトに関する案内を配布し、その後、機関誌にも掲載して周知を図りました。案内にはQRコードを添付し、携帯電話やスマホなどから誰でも気軽にアクセスできるように工夫しました。なお、企業内のイントラネット上にも労組ホームページのリンクを貼り付けてもらい、アクセスしやすい環境とするため企業にも協力してもらいました。ホームページ上では、(ろうきん)やこくみん共済coopのチラシやホームページにリンクさせ、労組ホームページをキーに関連団体の情報が得られるように工夫しています。



金村修司さん(中央執行委員) ※撮影の為マスクを外しています